

肴町スモールエリアマネジメントに向けた社会実験

～肴町公園等の公共空間を活用した都市の魅力向上と都市型コミュニティの醸成～

中間報告

Sendai Development Commission株式会社

2.団体の紹介



DAYOUT!! 2016.5~



GREEN LOOP SENDAI 2017.4~



LIVE+RALLY PARK. 2018.3~2019.1



3-1.事業実施により解決したい課題

着目した問題

- ・高齡化や担い手不足による地縁型コミュニティの弱体化
→コミュニティが担っていた治安維持、公助等の機能の低下

問題を解決するための課題

人材：担い手となる人材をいかに見つけるか

機会：コミュニティへの多様な関わり方をいかに生み出すか

場所：担い手となる人たちが何気なく集える場所をいかに作るか

→公共空間(公園や街路)をコミュニティ活性化の舞台へ！

ストップしている再整備計画を地域の魅力増幅のフックにしたい

本事業での取り組み

基礎調査・公園における社会実験・道路における社会実験・地域WS・広報誌

取り組みを通じて解決・明らかにしていくこと

域内の概要・課題・魅力

肴町公園に対するニーズや事業性

道路空間における交流・滞留スペースのニーズと通行・走行の安全性

3-2.提案時の目標

事業目標

地域の可能性と課題を抽出し、住民や利用者の意見の拾い上げ、その仮説検証として社会実験を行う

具体的な実施事業

- ・ 地域の基礎的な調査
- ・ 公園整備に向けた利用者意見の拾い上げ
- ・ 肴町公園における公園施設の事業可能性調査
- ・ 晩翠通の歩道再整備に向けた、屋外家具の中期設置による課題抽出

4-1.事業実施の様子



道路における社会実験の案内掲示
プラットフォーム構築の一環として
立ち上げた「肴町エリアまちづくり
協議会設立準備会」を主催とし、
本事業内でバックアップ。



道路における社会実験①
広瀬通 仙台協立ビル前



道路における社会実験②
晩翠通 SCS前

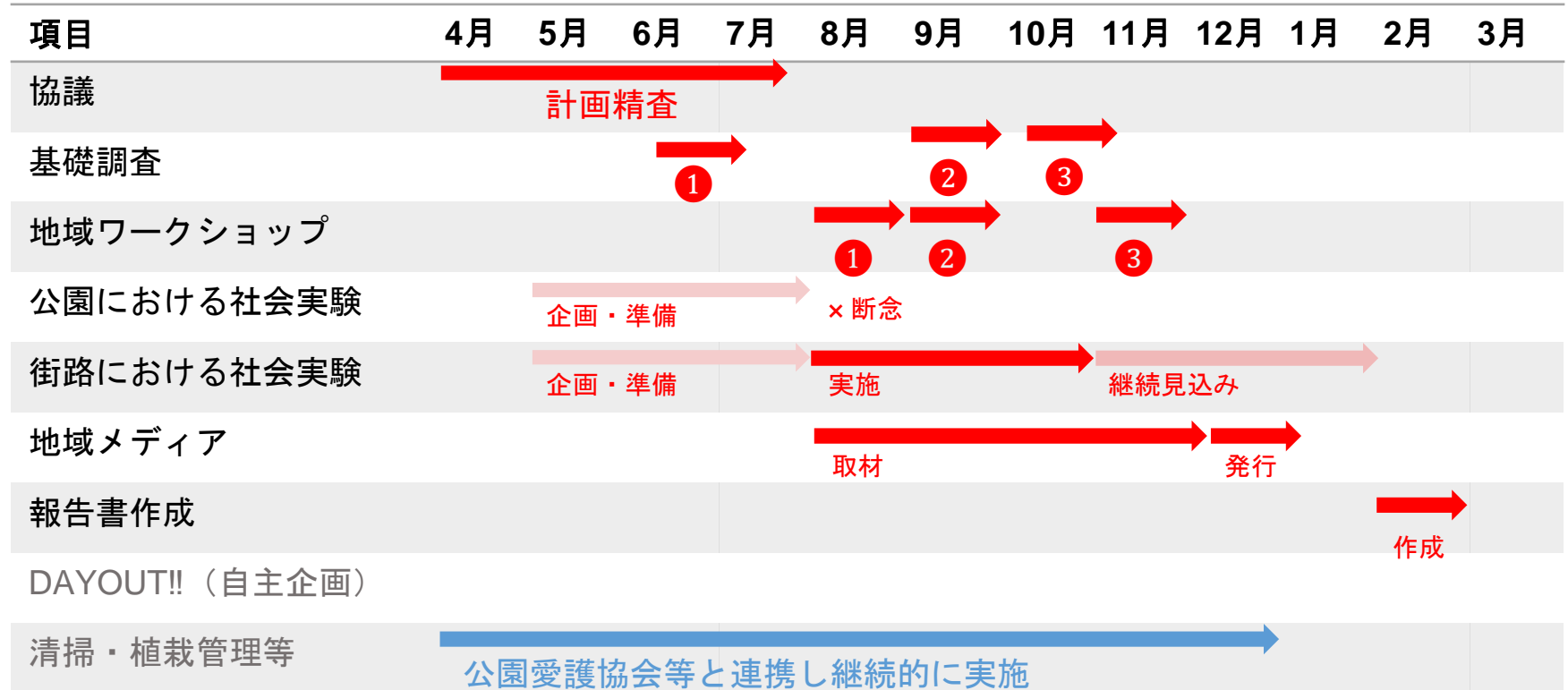


道路における社会実験③
晩翠通 大蔵前



EX.地域の交通安全
キャンペーンへの参加

4-2.事業実施のスケジュール



・基礎調査

街路空間の調査（「国土交通省 まちなかの居心地の良さを測る指標」を活用）

第1回調査日 2020/6/20

第2回調査日 2020/7/3

・街路における社会実験

開始日 2020/7/17

・地域ワークショップ

第1回実施日 2020/9/26

4-3.担当課との役割分担と実際の動き

Sendai Development Commission株式会社

仙台市都心まちづくり課

- 1 本事業の進捗管理及び課題管理
- 2 各事業の企画及び実施
- 3 関係者との連携・調整
- 4 地域住民と行政間の橋渡し
- 5 本事業の広報及びPR
- 6 記録及び報告書の作成

役割

- 1 助言等参画
- 2 庁内関係部署との連絡調整
- 3 関係機関との連絡調整
- 4 本事業の広報及びPR

概ね予定通り
事業推進・取り組み実施に際しての
各事業者との調整や町内会への説明等は
団体にて実施。

実際の
動き

概ね予定通り
各種申請や地域団体立ち上げに際し、各管理
者や関係課との事前調整を行い、団体の事業
推進をサポート。

5-1.事業目的の達成状況

事業目的

魅力的な公共空間をデザインし、継続的にマネジメントしていくこと

達成状況

自己採点 **40/100** 店

- ・ 新型コロナウイルス感染症感染拡大により、現時点で公園での社会実験を行っておらず、スケジュール全体が後ろ倒しとなっている。
- ・ 一方で街路おける社会実験は実施。コロナ対策としても効果を上げている。
- ・ 屋外席利用者のアンケートでは好評であり、テーマ型コミュニティの交流の場としては一定の成果とみている。
- ・ 関係3町内会の「肴町エリアまちづくり協議会設立準備会」に対する加入・賛同はあるが、住民レベルの参画が依然として進んでいない。

5-2.協働による効果

団体のこれまでの域内での取り組みや培ってきた町内会や事業者との信頼関係を**を本事業で形あるものとし、地域の取り組みとして昇華**させることができつつあると感じている。

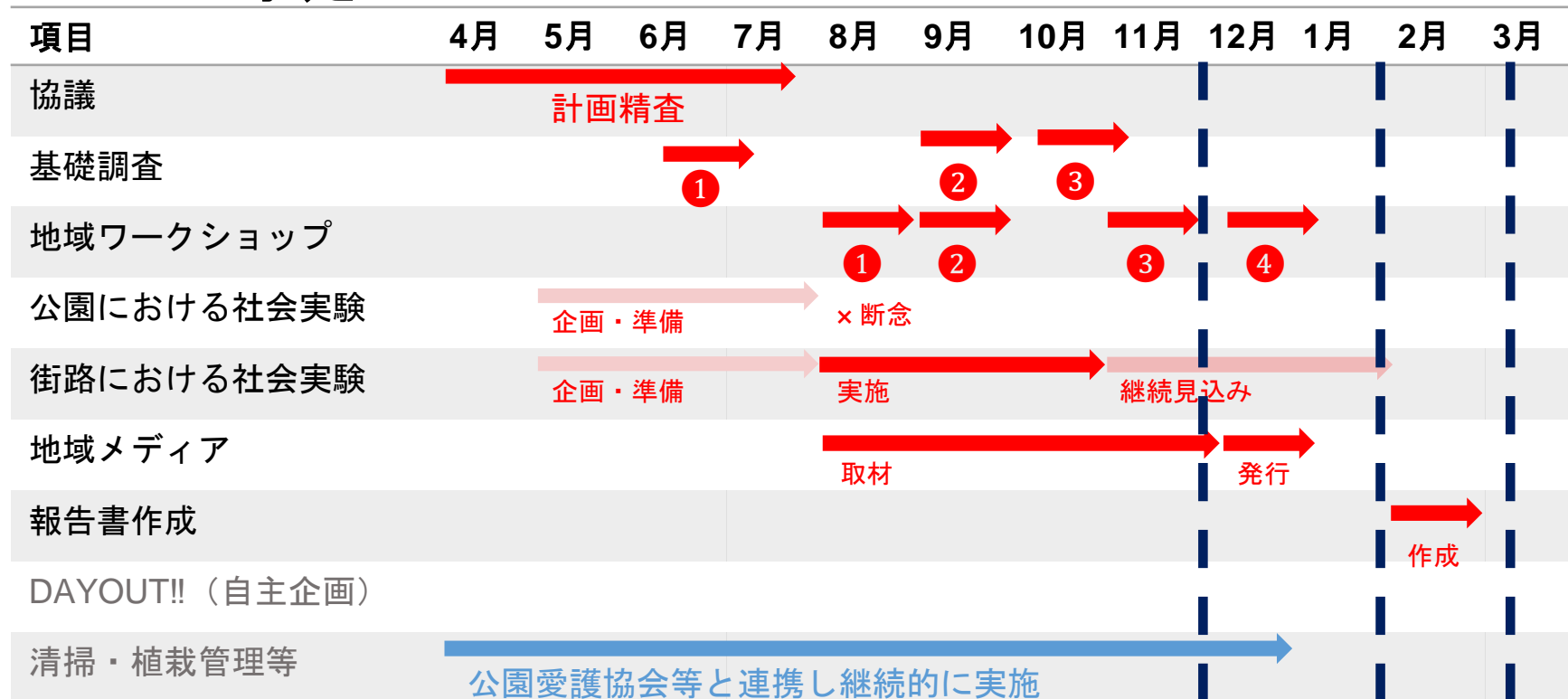
また、協働する都心まちづくり課を中心に、各管理者や関係課などの**巻き込みが徐々に起きつつある**。

本事業を中心に、公民双方の動きが同時並行的に進んでいくことに、今後のまちづくり事業の推進に期待感を感じている。

5-3.事業実施により新たに把握した課題

- ・ 現在、任意団体として立ち上げた「肴町エリアまちづくり協議会設立準備会」はまだ**財源の確保**に至っておらず、**自走を目標**としていく上で大きな**課題**である。
- ・ 実施には至っていないが、公園における仮設建築物の設置に際しては社会実験とはいえ、仮設建築本体や電気水道通信などの**インフラ投資に対する事業性の検証**、また建築基準法や都市公園法などの**関連法の確認**など、**十分な準備期間・検討期間**を設ける必要がある。
- ・ 公園を会場に想定していた**一般市民向けプログラム**（子供向けプログラムやヨガなど）などは、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、実施すること自体**慎重に検討**せねばならない。
そういった意味では今後の**公園のあり方**の検討の一つの重要な要素になりうる。

6-1.R2の予定



調査終了後、エリアの現状・課題・魅力などを取りまとめ (~11月ごろ)

エリアの現状・課題・魅力を踏まえたエリアのビジョン (仮) を策定 (~2月ごろ)

策定したエリアのビジョン (仮) を理念とした協議会を設立 (~3月ごろ)
 ※7月に立ち上げた「肴町エリアまちづくり協議会設立準備会」を前身とする。

6-2.R3・事業終了後の予定

